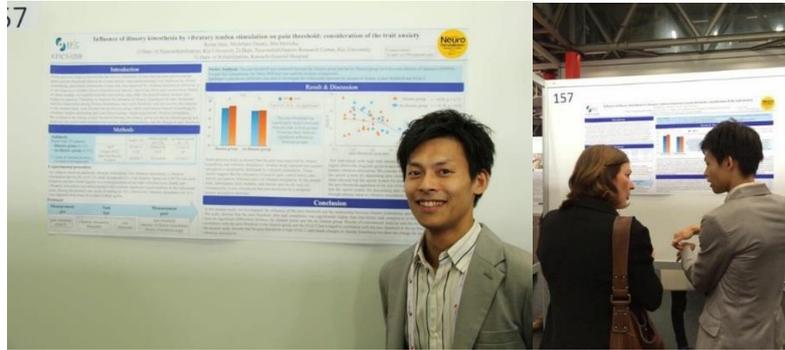


学術業績についての概要

【オーストリア・ウィーンでの国際学会発表】



理学療法士の今井亮太が主に痛みに対する診療を基に研究を行い、国内だけでなくサンフランシスコやオーストリア等海外の学会でも発表し論文投稿を行っております。

【優秀賞受賞】



痛みの治療を基にした研究で、4度の優秀賞を受賞致しました。今後も、当院のリハビリテーションの質を高め、研究成果を患者様に還元できるよう研鑽していきます。

【受賞】

- 優秀賞 《第48回日本理学療法学会学術大会. 2013. 5, 愛知.》
今井亮太, 大住倫弘, 平川善之, 森岡周: 橈骨遠位端骨折術後に対する腱振動刺激による運動錯覚が急性疼痛に与える効果.
- 優秀賞 《第18回日本ペインリハビリテーション学会学術大会. 2013, 8, 福岡.》
今井亮太, 大住倫弘, 森岡周. 橈骨遠位端骨折後のギプス固定期間中に腱振動刺激による運動錯覚の介入がギプス除去後の痛みに及ぼす影響-1症例による検討-
- 優秀賞 《第7回日本運動器疼痛学会学術大会. 2014, 10, 山口.》
今井亮太, 大住倫弘, 森岡周. 腱振動刺激による運動錯覚と特性不安が痛みの閾値へ与える影響.
- 優秀賞 《第20回日本ペインリハビリテーション学会学術大会. 2015, 9, 愛知》
今井亮太, 高村優作, 大住倫弘, 森岡周. 橈骨遠位端骨折術後患者の痛みと運動速度の関係性-1症例による検討-